

## ブラジル デジタルガバナメント戦略 9月

### VE センター

#### 1. 背景

・基本データ([JETROデータ](#))

国土:851.2 万平方キロメートル(日本の 22.5 倍)

人口:約 2 億 947 万人(2018 年, 世銀)

政治体制:連邦共和制(大統領制)

一人当たりの国民所得 9,080 米ドル(2018 年, 世銀)

GDP(名目):1 兆 8,850 億米ドル(2018 年, 世銀)

経済:2,803 億ドル(約 28 兆円)(2018 年 IMF)

・国連の[幸福世界度](#):2018(28 位)、2019(32 位)、2020(32 位)

・第 14 回[早稲田大学世界電子政府進捗度ランキング](#):2018(56 位)

・国連の[電子政府ランキング](#):2018(10 位以内に入らず)

・[OECD OURdata Index on Open Government Data](#) 2019(35 位内に入らず)

[Global Competitiveness Index 4.0 \(World Economic Forum\)](#) 2018(72 位)

:ウイルス死亡数

[ブラジル ウイルス死亡数 2020.7.27\(現在\):100 万人当たり\(409 人\):3\(南米でトップ\)](#)

[COVID-19 Dashboard by the Center for Systems Science and Engineering \(CSSE\) at Johns Hopkins University](#)

#### 2. デジタルガバナメント戦略

1) 戦略 1: デジタル体制づくり

ビジョン

この政策は、経済の生産部門におけるデジタル・トランスフォーメーションの実現者として、この新しい時代の[キャパシティビルディング](#)の重要な貢献者として、ならびにサービスプロバイダーおよび権利の保証人としての政府の役割に焦点を当てた戦略的行動を提案する。[BRAZILIAN DIGITAL TRANSFORMATION STRATEGY E-Digital 2018-2021](#)

この提案は 5 つの戦略目的を 2020 年に達成する(図 1 の横軸)

ブラジルのデジタルトランスフォーメーション戦略の重要な焦点は、[国連の 2030 アジェンダの持続可能な開発目標 1 \(SDGs\)](#)の観点から戦略的行動を実施することである。

戦略目的 1. 情報と通信技術のインフラとアクセス(A)

質の高いサービスと経済性を備えた、インターネットおよびデジタル技術への全てのブラジル人のアクセスを増加させる。

戦略目的 2. 研究、開発、イノベーション(B)

最も重要な国の課題を解決することを目指して、科学のおよび技術的成果を増やして新技術の開発を刺激する。

戦略目的 3. デジタル環境の信頼と自信の構築(C)

インターネットを安全で信頼できる環境にして、市民の権利を尊重しながら、サービスと商取引を可能にする。

1) 権利とプライバシーの保護

2) デジタル環境の防衛とセキュリティ

戦略目的 4. 教育と専門資格(D)

新しいスキルと高度なテクノロジーを備えたデジタル世界の社会を認定し、未来の労働市場に向けて人々を準備する。

戦略目的 5. インターナショナル展開(E)

デジタル問題に関連するグローバルフォーラムでブラジルのリーダーシップを強化し、海外ブラジル企業の競争力とプレゼンスを刺激し、デジタル経済における地域統合を促進する。

- 1) インターネットガバナンス
- 2) デジタル経済における調整と統合のプロセス
- 3) デジタル経済におけるブラジル企業の国際化

この改訂デジタル・トランスフォーメーションの構成を図1に示す。

A B C D E

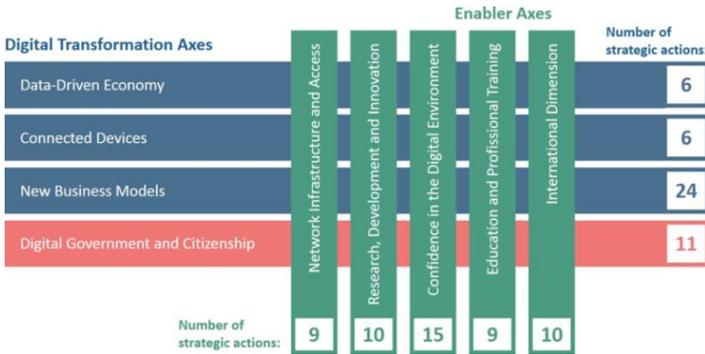


図1 改訂デジタル・トランスフォーメーション戦略の構成 (E-digital)

横軸はこのデジタル・トランスフォーメーション実現するツールを示す。

1. データ駆動経済
2. 世界に繋がる端末
3. ニュービジネス・モデル (Industry 4.0、農業・サービスへの影響) の実施
4. デジタル・ガバナメントと市民参加 (デジタル起業、E-Commerce プラットフォーム、創造経済プラットフォーム、データ分析プラットフォーム、相互運用プラット、市民デジタル認証ソリューション)

2) 戦略 2: デジタルガバナメント体制づくりの評価 (OECD)

Digital Governance Strategy (Estratégia de Governança Digital, EGD)

[Strengthening the governance framework for digital government in Brazil](#)

OECD の目的は、連邦行政機関の機関やエンティティの変革イニシアチブを導き統合することであり、政府情報へのアクセスの拡大、デジタル公共サービスの向上、社会的社会の拡大を通じて、ブラジル社会の利益創出の効果を高めることに貢献する。

この結果はブラジル政府と事前に共有され、2018年5月に公表された。図2に示す。

このデジタルガバナンス戦略は3つの軸(情報、サービス、参加)からなっている。

情報(Information)へのアクセスの軸は、

- ・オープンデータを利用可能にし、その使用を奨励する。
- ・ICTによる透明性の促進する。

サービス(Services)へのアクセスの軸は

- ・デジタル変革により公共サービスの提供を増やす。
- ・インフラ、データ、プロセス、システム、サービスを共有および統合する。

参加(Participation)へのアクセスの軸は

- ・公共サービスおよび政策のライフサイクルを通じて社イクル全体会参加を拡大する。

この戦略評価は、各戦略目標の実装を導く9つの分野の横断的な原則を前提としている。プラットフォームとしての政府として、市民のニーズに焦点を当てる。シンプルさとイノベーションはこれらの原則の2つの事例である。

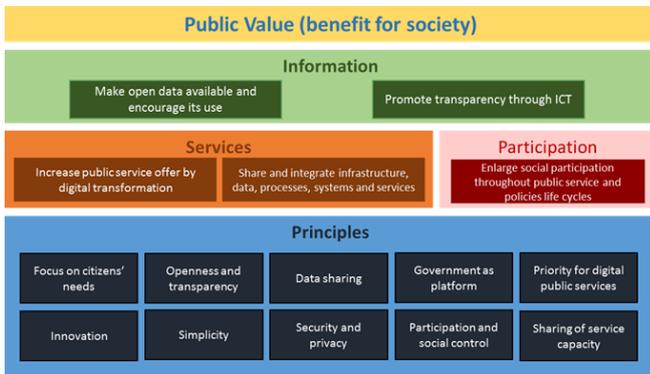


図2 デジタルガバナンス戦略(EGD い)(2018)

連邦政府サービス Web ポータルで少なくとも 2000 の異なるサービスを利用できるようにする (E-digital)。

このデジタルガバナンス戦略は3つの軸(情報、サービス、参加)からなっている。

情報へのアクセスの軸は、

- ・オープンデータを利用可能にし、その使用を奨励する。
- ・ICTによる透明性の促進する。

サービスへのアクセスの軸は、

- ・デジタル変革により公共サービスの提供を増やす。
- ・インフラ、データ、プロセス、システム、サービスを共有および統合する。

参加へのアクセスの軸は、

- ・公共サービスおよび政策のライフサイクルを通じて社イクル全体参加を拡大する。

この戦略評価は、各戦略目標の実装を導く9つの分野横断的な原則を前提としている。そして、プラットフォームとして政府、市民のニーズに焦点を当てる、イノベーション(Innovation)とシンプルさ(Simplicity)とがこれらの原則の事例である。

連邦オープンデータポータル([dados.gov.br](https://dados.gov.br))と連邦透明ポータル([transparencia.gov.br](https://transparencia.gov.br))は、この軸で識別される主要なプラットフォームある。

影響評価とデジタルガバナンス戦略の実装の透明性を促進するために、5つの戦略目標は、2016年から2019年に達成される具体的な目標に関連付けられ、毎年評価される特定の指標を通じて監視および測定される。戦略の監視メカニズムに特化した詳細レベルは、水平性と横断的実施のサポートを提供することにより、透明性と共有責任に対するブラジル政府の取り組みを示している。この共同で共有された取り組みは、デジタル政府戦略とその結果の長期的な持続可能性にとって重要である。

so

3)戦略3: オープンデータの活用 (Open Government Partnership:OGP)

[Brazil's 4th National Action Plan](#)

デジタル体制づくりとデジタルガバナメント体制づくりの評価(OECD)で作成したデータは国連の[Open Government Partnership](#)に参加して、オープンデータにして活用する。それらは以下の11の分野に分かれている。

1.州および地方自治体のオープンガバナメント

2. オープンデータのエコシステムの確立
3. 科学のイノベーションとオープンガバナメント
4. 食と栄養の安全保障に対する国民の管理の強化- PLANSAN
5. 利用者の満足度と陸運局 (ANTT) の規制への社会的影響
6. マリアナの賠償手続きとその他の自治体に対する透明性と公的監視
7. 立法過程における透明性の増加
8. 地方地籍図 (SINTER) の透明性
9. 気候変動政策の透明性の開発
10. 水資源 (SNIRH) のオープンガバナメント
11. 政府の透明性-州および地方自治体の情報へのアクセス (LAI) に関する透明システム (National e-SIC) の開発

### 3) 戦略 3: データの AI 利用

OGP に参加して作成したオープンデータの 4 次行動計画は AI として活用する。

#### AI 戦略

・この分野でのリーダーシップを求める世界的な競争に対応し、関連技術の適用がますます普及するにつれて、仕事、教育、税務、研究開発、そして倫理の将来について話し合う必要性への対応として、国家 AI 戦略は作成される。

・2020 年 1 月 31 日に終了するパブリック・コンサルテーションの目的によると、政府は、AI が国の競争力と生産性の向上、公共サービスの提供、生活の質の向上、南半球最大の経済における社会的不平等の緩和につながることを理解している。

・ブラジルは、経済協力開発機構 (OECD) の人間中心の AI 原則を遵守しており、透明性や説明可能性などの領域に関する推奨事項をガイドラインとして規定している。

・これらのガイドラインに照らして、ブラジルの AI 戦略をめぐる議論では、最初に **6 つ** の垂直テーマについて説明している。

1. デジタル未来のための資格
2. 労働力
3. 研究、開発、イノベーション、起業家精神
4. AI の政府による適用
5. 生産部門と公共安全への応用
6. 公共の安全性

この議論は 2020 年 1 月 31 日に終了する。

### 4) 5G 戦略: AI との共生づくり

AI に移すデータは携帯でリアルタイムに人と対話出来るように高速の 5G に導入する。

#### ブラジルでの 5G の導入は 2021/2022 まで延期

ブラジルでの 5G モバイル通信技術の導入は 2021 年の終わりか 2022 年の初めに行われることになる。5G の導入のための主な問題は衛星のパラボラアンテナによるフリービューテレビの送信のためにブラジルで使用されている 3.5 GHz の周波数による干渉のリスクにある。